

令和5年度 幼保小連携推進地区事業 善部地区 活動報告

活動テーマ

「育ちと学びを豊かにつなごう」
～園児と児童の豊かなかかわりと、なめらかな接続をめざして～

横浜三輪幼稚園
善部保育園
横浜市立善部小学校

活動テーマについて

「育ちと学びを豊かにつなごう」
～園児と児童の豊かなかかわりと、なめらかな接続をめざして～

【推進テーマについて】

コロナ禍であった連携推進1年目の昨年度から、アプローチカリキュラム、スタートカリキュラムの実施の仕方を模索してきた。2年目の本年は、幼稚園や保育園との連携をさらに深め、園のよさや学校の特徴を生かした接続期のカリキュラムマネジメントを行いたいと考え、推進テーマを設定した。

推進内容

4月11日～

善部保育園職員の読み聞かせの会(全3回)

4月28日

第1回推進委員会

8月17日

保育参観

9月 4日

第2回推進委員会

9月下旬

児童・園児交流会

9月26日

第2回幼保小接続期研修会(オンライン参加)

11月14日

児童・園児交流会(小学校へ招待)

12月 1日

健やか子育て講演会参加

1月11日

第3回推進委員会

今年度の重点課題

- ・初年度の経験を活かし、幼保小の職員間の連携をさらに進めるため、推進委員会を設定し、園児と児童の学び合いをより効果的に計画する。
- ・児童園児交流を企画し、園児は小学校への興味や関心が高まるよう、児童は相手意識をもった活動や計画づくりができるようにする。
- ・スタートカリキュラムの成果と課題を明確にする。さらによいカリキュラム作成に努める。

連携推進地区事業の実態① 推進委員会(第1回～3回について)

○第1回推進委員会(4月28日(金)15時半～)

- ・推進委員自己紹介と予算案説明
- ・4月11日～13日の園長先生読み聞かせのふりかえり
- ・令和5年度の幼保小交流の年間計画調整と確認
- ・昨年度の引継ぎ事項確認

○第2回推進委員会(9月4日(月)15時半～)

- ・「架け橋プログラムだより」を活用した本校ブロックの取り組み案
- ・9月までの活動ふりかえりと購入希望品について
- ・第1回児童園児交流(公園)について
- ・第2回児童園児交流(小学校)について
- ・今後の活動の確認

○第3回推進委員会(1月11日(木)15時半～)

- ・幼保小教育交流事業 報告会の報告書作成
- ・令和5年度の活動のふりかえり
- ・令和6年度への引継ぎについて

連携推進地区事業の実態② 第1回児童園児交流(善部公園)

子どもたちがよく遊ぶ善部公園で、児童と園児が偶然出会い、一緒に遊ぶ。
園児は小学校教諭とも出会い、児童は園の先生に出会う。

○9月20日(水)9時半～
・探検バックを
見せている



1年1組と善部保育園年長組との出会い
・虫取り



○9月22日(金)10時～
・園の先生と1年生



1年2組・3組と三輪幼稚園年長組との出会い
・リレー



連携推進地区事業の実態③ 第2回児童園児交流（学校案内）

9月の出会いから、思いを広げた1年生が11月に園児を学校に招待し、体育館と教室を案内する計画と準備をした。園児は小学校の体育館・教室に入り、学習用具や学習教材を手にした。



実行委員のがんばり



園の先生からのお話



国語作品を見る園児



座席に座る園児



教科書を読む1年生



ランドセルと教科書

連携推進地区事業の実態④ 健やか子育て講演会

『みんなで伴走し、育てよう!旭区の子どもたち』

～年長から小1の2年間の架け橋期の教育を考える～

・令和5年12月1日、東海大学の寶來生志子先生の講演会に善部保育園・横浜三輪幼稚園・善部小学校で参加。

・子どもは、安心しなければ自己を発揮できない。安心感が、子どもたちの意欲や主体性、学びに向かう力を引き出すことにつながる。

・大人が広い心、ゆったりした心で子どもたちと接することが大切。

・子ども自身が興味・関心をもっているとき、その子のもっている最大限の力が発揮される。

・従来の発想を転換し、新しいスタートカリキュラムに。

従来:「教えてあげる」「丁寧に」「自分だけではできないことが多い」

→幼稚園や保育園での経験から、獲得している知識や技能を理解する。(10の姿)

→知識を押し付けない、否定しない。待つことが大切。

→丁寧すぎない指導。

→子どもの意識を尊重し任せる。「どうしたい」「どうおもう」の声掛け。

横浜三輪幼稚園



『児童園児交流会』
一年生・先生との出会い
園と同じ・違いの発見
異年齢のコミュニケーション(思いやり、憧れ)
小学校生活への期待



『文字・数字への親しみ』
ハガキ制作、トランプ
文字・数字への興味・関心
教え合う姿
数感覚の高まり
言葉で伝え合う喜び



『ハロウィン
パーティー』
「やってみたい」を形に
今までの遊びの集大成
豊かな発想、アイデア
年長としての自覚
計画、実行、達成感

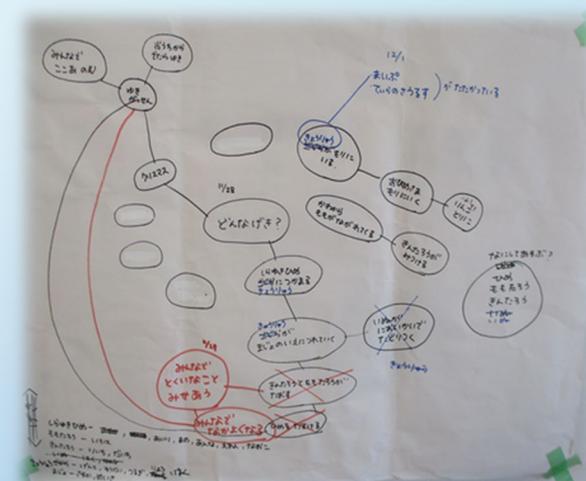
善部保育園



『色水づくり』
色に興味をもち始めた子どもたちと実験。色水を好きに混ぜて変化を楽しみ、最後は色の仲間に分けてグラデーションを学びました。



『おみこし製作』
グループに分かれてデザインの話し合い。それぞれ意見を出し設計図をつくり、一つの作品を仕上げました。



『劇遊び』
クラスで一つの劇をするためお話を一から考えました。思いを伝え合いながら、お互いのイメージを共有してきました。



『のびのびタイム』
遊具遊び(学校のきまり)
ブロック遊び
学校探検(他学年の協力)
飼育動物の発見
児童支援専任との出会い



『児童園児交流会』
実行委員の頑張り
園児への声掛け
話し合いでの計画づくり
相手意識をもった計画と活動



『保育参観』
登園後の過ごし方
学び・話し合い活動
園児の興味関心の把握
思いに寄り添う態度
個別の支援

成果と課題 来年度に向けて

成果

- ・初年度の経験を活かし、幼保小の職員間の連携がスムーズであったため、園児と児童の学び合いが更に効果的に計画できた。
- ・二度の児童園児交流から、園児は憧れや思いやりの心が芽生えたり、小学校への興味や関心が高まったりする姿がみられた。児童は、相手意識をもった活動や計画づくりができるようになった。

課題

- ・児童園児交流のふりかえりを行えば、さらに有意義な次の交流を企画することができた。児童も園児も成長できる可能性がある。
- ・スタートカリキュラムのより細かい計画が必要。子どもが今まで獲得してきた知識や技能を明確にし、新たに身に付けてほしい知識や技能をカリキュラム内で経験できるようにする。